

ストップ! 安倍9条改憲

憲法問題 Q&A

安倍首相が狙う9条改憲。どう考えればいいでしょう。



9条って何ですか?

日本は15年間の侵略戦争でアジア・太平洋諸国民2000万人以上、日本国民310万人以上の命を奪いました。その痛苦の反省から「二度と戦争しない」という決意をこめ、憲法9条に「戦争放棄」「戦力不保持」を書き込みました。9条は全世界への平和の誓いです。9条があるからこそ、自衛隊が海外で人を殺したり、殺されたりしたことは一度もありません。9条のおかげで軍事予算の巨大化も抑えられました。9条は日本が平和国家として発展、繁栄してきた礎です。

「二度と戦争しない」「世界への誓い」

無制限の武力行使に道



しまいます。

自衛隊は、安保法制によって米軍の艦船や航空機の防護などを行うようになってきました。

それでも2項が壁

になり、海外で武力行使を目的にした戦闘には参加しないといわざるをえません。

そこで2項を空文化し、無制限の武力行使を可能にしようというのが安倍首相の狙いです。改憲の焦点は「自衛隊が合憲か違憲か」でなく「無制限の武力行使を許さない」なのです。

改憲の何が問題?

2項を空文化

安倍首相は9条2項(戦力不保持)を残し、自衛隊を

書き込むことを提案しています。首相は「何も変わらない」といいますが「後からつくった法律は前の法律に優先する」という法律の世界の原則によつて、2項は空文化して

日本国憲法

第九条

①日本国

民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

自衛隊に感謝の気持ちを表したいが...

改憲団体が「自衛隊への感謝の気持ちを込めて自衛隊を憲法に明記しましょう」というチラシを配っています。国民が感謝する自衛隊とは災害救助で頑張る自衛隊です。しかし首相が書き込もうとしているのは、憲法違反と

して歴代政権が認めてこなかった集団的自衛権の行使を容認した「閣議決定」と、それに基づく戦争法を実行する自衛隊。海外で武力行使できる事実上の「軍」です。

「感謝」どころか、隊員の命を危険に陥れるものです。

隊員の命が危ない

